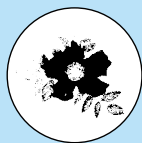
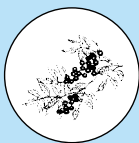


おこっぺ



町の花ハマナス



町の木ナナカマド

議会だより

第156号

令和元年8月14日

発行／☎098-1692紋別郡興部町旭町興部町議会

TEL (0158) 82-2135
FAX (0158) 82-2990

編集／議会広報特別委員会



木下社中

就任のご挨拶P2

第2回町議会定例会・臨時議会報告P3～6

議会改革特別委員会設置・町政ここが聞きたい!! ... P7～12

議員活動報告・議会の構成 P12～13

北海道町村議会議員研修会報告・編集後記 P14

魅力ある議会に

興部町議会議長 山川 孝義



4月に執行されました統一選挙後の議会において、議員各位の推挙によりまして、町議会議長の要職をあずかることとなりました。多くの先輩たちが残された功績を汚さぬように、更に、住みよい町を築き上げていくため、全力をあげて努力していききたいと考えています。

議会議員選挙では、定数割れが生じ二期連続の無投票となりました。人口減少と少子高齢化が加速する中で議員のなり手不足が深化している現実が、露わにな

りました。これから4年間議会として大きな難題に向き合っていかなければなりません。これは議会だけで解決できる問題ではありません。地域住民と一体となつて課題に取り組んでいかなければならないと考えています。今後、行政運営や議会活動に住民が参加する仕組みをいま一度整え、新たな担い手を育てていかなければなりません。議会は、全員で構成する議会改革特別委員会を設置しました。この委員会で課題解決に向けて議論し、魅力ある議会づくりを進めてまいります。日頃から町民の皆様には、温かいご理解、ご協力をいただいているところではありますが、より一層のご協力をお願いする所でございます。

又、議員は、地域住民の要望を実現するために大いに力を発揮しなければなりません。それが、それと同時に地域全体のことでも考え大所高所からの活動が求められます。これからは、行政・議会・町民が一体となつて町づくりを進めていかなければなりません。議会も議員、一人ひとりが政策に強くなり、判断する能力を高め、町民皆さんの期待にしっかりと応えてまいりますので、今まで以上のご理解、ご協力をお願い申し上げます。



主役はあなたです！

議会を傍聴してみませんか

○次回定例会は9月です○

手続きは、傍聴者名簿に住所・氏名を記入するだけ

令和元年第2回 町議会定例会のあらまし

令和元年第2回町議会定例会は、6月10日開会され、町政執行方針・教育行政執行方針・行政報告、報告1件、議案13件、同意1件、諮問1件、発議4件、追加議案1件計21案件が審議されました。

町長行政報告

JR北海道に対する 緊急かつ臨時的な支援

昨年12月に開催した関係者会議において、JR北海道の極めて厳しい経営状況を踏まえて、石北本線及び宗谷本線の維持困難線区における定時性や利便性、快適性の向上などの利用促進に資する緊急的かつ臨時的な支援を行うべく協議を行うとしたところです。

なお、具体的な支援の実施に向けては、北海道としての案が各協議会等に提出されましたので、今後、北海道における関連予算案の議決を前提として、沿線市町村が一体となつて必要な支援を講ずる考えです。



興部町福祉灯油等 支給事業の実施

在宅で生活する低所得者の高齢者世帯等に対し、冬期間における暖房用燃料に使用する灯油等購入費の一部として商工会商品券1万円分を支給し、生活の安定と福祉の増進を図る目的で実施しました「興部町福祉灯油等支給事業」については、本年1月21日から受付を開始し、3月末までの商品券使用分の支払いをもつて事業を完了しました。最終の商品券支給世帯数は215世帯で、支給率は78・8%となりました。

教育関係の状況

興部高等学校への新入学生徒についてですが、入学出願者全員が合格し、入学者は20名となりました。今後、興部高等学校間口確保対策協議会及び、西紋地区教育文化振興会が中心となつて、継続した支援を行います。

農作物の作況

次に、新興部中学校の整備関係ですが、現在、設計変更にて工期を延長した外構工事を実施しています。5月上旬にグラウンド工事が完了しました。今後、舗装工事等の最終仕上げを行い7月中には全ての工事が終了する予定であります。

本年の1番牧草は、気温や日照条件に恵まれたものの、降水量が平年を大きく下回り干ばつ傾向にあつたため、生育は平年並みとなっています。また、飼料用トウモロコシについては、天候と気温に恵まれ、播種



議会の動き

令和元年5月8日以降

5月8日 第1回町議会臨時会

時

15日 議員会臨時総会

17日 興部町暴力追放協議会総会

18日 興部町商工会通

18日 沙留漁業協同組合冷蔵庫建設安全祈願祭

20日 高規格道路期成会総会

21日 空港期成会総会

21日 西紋別総合開発期成会（高規格道路期成会）

21日 重要活動

21日 北海道議長会職員研修会

24日 オホーツク町村協議会定期総会

26日 紋別地区消防組合興部消防団連合消防演習

29日 議会全員協議会



作業が例年より早く進行し
5月23日に終了したことに
伴い、発芽期は例年より5
日早く、今後の生育にも期
待が持てる場所です。

生乳生産の状況

今年度の計画乳量は5万
1千496tで5月末現在の
生産乳量は、昨年同期で
1%の減、計画乳量対比で
は0・6%下回る、2万4
千626tとなっています。

漁業生産の状況

本年度の水揚げ計画数量
は、前年計画比6%減の1
万6千983tで、毛ガニ
漁は昨年対比37%減の61
t、さけ定置網漁は11%減



の1千600tです。

ホタテ漁は前年計画に対
して4%減の1万3千60
0tの計画で、4月18日
には沙留漁業協同組合・ほ
たて貝漁業生産部会のご厚
志により、ホタテ無料配布
が行われました。

5月末現在の水揚げ量
は、ホタテ漁では前年同
期比130%増の4千451
t、毛ガニ漁では45%減
の12tで、昨年に続き今
年も大不漁になっているた
め、今後の資源確保につ
いても心配されます。

ホタテの稚貝放流につ
いては、4月18日からD
海区に2億2千560万粒
の放流を計画し、地方産
については、6月4日に放
流を終え、地元沙留産につ
いては、4月30日から操
業し、6月1日に終えまし
た。6月3日よりホタテ漁
の本操業が開始されまし
た。

建設工事の発注状況

6月1日現在、「土木・
水道工事で67%」、「建築工

事31%」となっています。
残余の工事につきまして
も、準備が整い次第随時発
注します。

一般会計補正予算 (第2号)

今回の補正は「興部町地
域福祉計画、認定子ども園
整備基本構想及び第2期子
ども・子育て支援事業計画
の策定に係る業務委託料の
増額、幼児教育無償化に係
るシステム改修及びプレミ
アム商品券事業の実施に係
るシステム導入業務委託
料の増額、合葬墓の整備
及び家畜臨床センター温
水機更新に係る工事請負費
の増額」などによる補正で、
2千394万7千円を追加
し、歳入歳出それぞれ47億
9千642万7千円とし、
原案どおり可決した。

歳入の主なもの

○興部町幼保連携型認定子
ども園整備基本構想策定
業務委託料 300万円
○第2期興部町子ども・子

育て支援事業計画策定業
務委託料 390万円
○子ども・子育て支援シ
テム改修業務委託料

475万円
○プレミアム付商品券シ
テム導入業務委託料

118万円
○合葬墓整備工事請負費

720万円
○家畜臨床科学センター温
水機更新工事請負費

一般会計補正予算 (第3号)

今回の補正はバイオマス
事業の推進に係る予算の補
正で、地域循環共生圏構築
事業実施に伴う委託料の増
額補正で、1千430万円
を追加し、歳入歳出それぞ
れ48億1千72万7千円と
し、原案どおり可決した。

補正内容

○地域バイオマス資源を活
用した脱炭素化事業可能
性調査業務委託料

1千100万円
○地域循環共生圏構築に向

30日
オホーツク圏活
性化期成会定期
総会

6月2日
興部中学校運動
会

4日
議会運営委員会
遠紋地区市町村
議会議長会総
会・研修会

7日
西紋別地区環境
衛生施設組合運
営委員会

9日
興部小学校運動
会

沙留小学校運動
会

10日
第2回町議会定
例会(1日目)

11日
議会全員協議会
北海道議長会定
期総会・研修会

12日
広域紋別病院企
業団議事会事前説
明会

13日
議会運営委員会
第2回町議会定
例会(8日目)

17日
議会広報特別委
員会

20日
第1回広域紋別
病院企業団議会

けた地域協議会運営支援
業務委託料
330万円

特別会計補正予算

特別会計3会計で補正予算が提案され、原案どおり可決した。

①興部町国民健康保険事業
特別会計補正予算

(第1号)

補正額は58万円を追加し、総額5億9千417万円とした。

補正内容は、国民健康保険制度改正対応システム改修業務委託料の増額。

②興部町後期高齢者医療に関する特別会計補正予算

(第1号)

補正額は9万円を追加し、総額6千138万円とした。

補正内容は、保険料還付金及び還付加算金の増額。

③興部町介護保険事業特別会計補正予算 (第2号)

補正額は59万円を追加し、総額3億323万円とした。

補正内容は、介護保険制度改正対応システム改修業務委託料の増額。

制定された条例

○元号を改める政令の施行に伴う関係条例の整理に関する条例

改正された条例

○興部町税条例等の一部を改正する条例

○災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例

○興部町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

報告された案件

○平成30年度興部町一般会計予算繰越明許費繰越計算書の報告

その他議決された案件

○北海道市町村職員退職手当組合規約の一部変更

○北海道市町村総合事務組合規約の一部変更

○北海道町村議会議員公務

災害補償等組合規約の一部変更

○議会改革特別委員会の設置

○中央公民館耐震補強・内部改修建築主体工事請負

契約締結

契約金額
1億8千700万円

契約の相手方
株式会社 藤共工業

○財産の取得
雪寒機械の購入

取得価格
1千479万5千円

契約の相手方
北海道川崎建機株式会社
名寄支店

同意した人事案件

○興部町副町長の選任
推名徹氏の選任に同意した。

人権擁護委員候補者の推薦

前推薦者任期満了に伴い、田中啓一氏を推薦同意した。

意見書の採択

①新たな過疎対策法の制定に関する意見書

提出者 阿部 昭一議員
賛成者 竹内 清議員

賛成者 藤渡 昭博議員
賛成者 鈴木 精一議員

現行の「過疎対策自立促進特別措置法」は令和3年3月末をもって失効することとなるが、過疎地域が、そこに住み続ける住民にとって安心・安全に暮らせる地域として健全に維持されることは、同時に、都市をも含めた国民全体の安心・安全な生活に寄与するものであることから引き続き総合的な過疎対策を充実させることが必要である。よって新たな過疎対策法の制定を強く求める意見書を提出する。

②2020年度地方財政の充実・強化を求める意見書

提出者 前田 義雄議員
賛成者 小泉 優子議員

提出者 前田 義雄議員
賛成者 小泉 優子議員

提出者 前田 義雄議員
賛成者 小泉 優子議員

提出者 前田 義雄議員
賛成者 小泉 優子議員

提出者 前田 義雄議員
賛成者 小泉 優子議員

提出者 前田 義雄議員
賛成者 小泉 優子議員

提出者 前田 義雄議員
賛成者 小泉 優子議員

提出者 前田 義雄議員
賛成者 小泉 優子議員

提出者 前田 義雄議員
賛成者 小泉 優子議員

臨時会
24日
西紋別地区環境衛生施設組合議会臨時会

紋別地区消防組合議会臨時会

25日
北海道議長会議員研修会

27日
西紋別地区総合開発期成会懇親会

28日
高規格道路期成会札幌要望活動

30日
遠軽駐屯地創立68周年記念式典

7月
15日
西紋別総合開発期成会(高規格道路期成会)夏季中央要望活動

5日
遠紋地区町村議会議長会事務局局長・事務局職員合同研修会

7日
はまなす幼稚園おやこ運動会

8日
オホーツク圏活性化期成会建設経済専門委員会

9日
戦没者追悼式

11日
沙留海水浴場海上安全祈願祭

- 賛成者 佐藤 吉春議員
賛成者 矢野 幸三議員
社会保障、災害対策、環境対策、地域交通対策、人口減少対策等増大する地方自治体の財政需要を的確に把握し、これに対応し得る地方一般財源総額の確保を図る。また、子ども・子育て支援新制度、地域医療の確保、地域包括ケアシステムの構築、生活困難者自立支援制度、介護保険制度や国民健康保険制度の見直しなど、急増する社会保障ニーズへの対応と人材を確保するための社会保障関連予算確保及び地方財政措置を的確に行うこと等を求める意見書を提出する。
- ③道教委「子どもの貧困」解消など教育予算確保・拡充と就学保障、義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元、教職員の超勤・多忙化解消・「30人以下学級」の実現に向けた意見書
- 提出者 小泉 優子議員
賛成者 前田 義雄議員
賛成者 佐藤 吉春議員
賛成者 矢野 幸三議員
義務教育費国庫負担制度の堅持と負担率を1/2に復元し、「30人以下学級」の早期実現に向けて、小学校1年生から中学校3年生の学級編成標準を順次改定すること。また、住む地域に関係なく子どもたちの教育を保障するために、義務標準法改正を伴う計画的な教職員定数改善の早期実現、教頭・養護教諭・事務職員の全校配置の実現のため必要な予算の確保・拡充を図ることを求める意見書を提出する。

臨時議会報告

令和元年第1回町議会臨時会は、5月8日に開催され承認1件、議案3件、計4案件が審議されました。

専決処分を承認した案件

○平成30年度興部町一般会計補正予算

(専決処分第2号)

補正額は、492万8千円を追加し、歳入歳出それぞれ64億4千675万6千円とし、可決した。

補正内容は、ふるさと応援基金積立金元金の増額、福祉灯油等支給事業扶助費の減額、興部町子ども・子育て支援事業負担金及び補助金の増額、町道除排雪業務委託料の減額等

一般会計補正予算(第1号)

今回の補正は低所得者の介護保険料の軽減強化に伴

う、介護保険事業特別会計繰出金の増額補正で、128万円を追加し、歳入歳出それぞれ47億7千248万円とし、原案どおり可決した。

補正内容

○介護保険事業特別会計繰出金 128万円

特別会計補正予算

介護保険事業特別会計で補正予算が提案され、原案どおり可決した。

①興部町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)

補正額は106万円を追加し、総額3億264万円とした。

補正内容は、介護保険制度改正対応システム改修業務委託料の増額。

改正された条例

○興部町介護保険条例等の一部を改正する条例

14日	興部保育所運動会
〃	さるる海浜まつり
21日	沙留保育所運動会
22日	オホーツク町村議会新任議員研修会
24日	遠紋地区市町村議会議長会議員研修会
25日	オホーツク町村議会議長会事務局長会議
26日	議会広報特別委員会
29日	合同常任委員会所管事務調査
8月	
13日	オホーツク圏活性化期成会中央要望活動
5日	議会広報特別委員会
7日	北海道森林・林業・林産業活性化促進議員連盟連絡会定期総会

町政ここが聞きたい!!

問 高齢者運転の急発進防止装置取り付けに
助成する考えは 前田義雄議員

答 高齢者の方にモニター実証していただき
その上で判断したい 碓 一寿町長



前田議員 毎日のように高

齢運転者によるアクセルとブレーキの踏み違い等による悲惨な事故が多発している。高齢者の免許返納を勧めているが、私共の生活圏で車を使わない日常生活は考えられないと思う。高齢者の交通対策の本格的、多面的な検討が必要な事であるが、取り敢えず後期高齢者を対象としてでも急発進防止装置の購入に助成する考えはないか？

碓町長 東京都が90%補助するというが、私自身が

どういう器具なのか把握していないので調べた上で判断したい。出来れば器具を購入し、高齢者の方にモデルとして設置させていただきモニター実証した上で判断したい。「良い」という事であれば支援も考えていきたい。

前田議員 今後、地方では

総合的な交通対策を検討していく必要があるのではないかと？

碓町長 高齢者の足の確

保については80歳以上の方は、元々免許を持つていない方が多く、デマンドバスやハイヤーの充実に取り組んでいる。高齢化率が上ってくる中、興部町で暮らしていたくためには総合的に取り組んでいかなければ、と考えています。

議会改革特別委員会を設置する

本年4月の統一地方選挙において、本町議会議員は議員定数10人に対し9人の立候補となり、無投票当選となりました。町民の重い信託を受け4年間の議会活動が始まりました。

選挙結果を踏まえ、第2回興部町議会定例会において議員全員による議会改革特別委員会を設置し、委員長には佐藤吉春議員、副委員長には竹内清議員を選任し議会の活性化、議員としての人格と倫理の向上、町民に身近な議会に改善すること、さらには、新たな検討項目も加味しながら取り組むこととしました。

問

**興部高校存続のための新たな支援策
「大学入学一時金」支給の成果は？**

前田 義雄 議員

答

**他校との差別化を計り、大学進学希望者
一人でも多く興部高校へ来てもらう**

畑山 研二 教育長

前田議員

教育執行方針の

中で従来からの高校存続、
入学者確保の支援策、入学
準備金、通学費、部活動支
援、見学旅行費補助、大学
進学対策等の支援を行い生
徒数確保に努めてきたが、
新たに「大学進学者、国公
立大学等の入学者に対する
支援を実施していく」「来
年度入学した生徒が三年
後、大学進学すると、国立
大学で50万円、公立、私立
大学で25万円の『大学入学
一時金』を支給する」とし
ているが、この支援策があ
るから興部高校へ来て大学
進学を目指すという選択に
なり、生徒獲得の大きな力
になるだろうか。始めから
進学に適した高校を選ぶと
思うが、間口対策として大
きな成果があげられるの

畑山教育長

この制度につ

いては、兼ねてから間口対
策協議会で議論、要望され
てきた。進学高校を選ぶ一
つの判断材料として他校と
の差別化を図り、進学希望
の生徒が増え高校全体の学
力向上に繋がり、進学実績
も上り、進学希望者が興部
高校を選択してくれるよう
になることを期待してい
る。

前田議員

進学率を上げ、

進学校としての評価を得る
というのは実際には非常に
難しいのではないかと。
更に、入学一時金が国立大
50万円、公立、私立大が25
万円とあるが、この金額の
差はどのような考えの基に
設定されたのか？

問

**オホーツク紋別空港直行便の路線維持と搭乗者確保
に向けた当町の取り組みについて**

竹内 清 議員

答

**路線確保に向け、興部町としてどのような体制を取るか
担当者も含めて今後協議をしていきたい**

碓 一寿町長



竹内議員

東京直行便は観

光、ビジネスだけではなく
子や孫の帰省や逆に様子を
見に行くなど家族の絆を結
び紋別市内の病院へ通う町
民には医療の翼と言っても
過言ではなく、直行便は絶
対に守らなければならない

路線と認識しているが、基
本的にどう考えています
か。

碓町長

地域として医療

も含めて様々な経済活動、
あるいは地域振興という意
味ではやはり東京都のパイ
プを切るわけにはいかず、

この路線をなんとか維持していきたいと考えています。

竹内議員

オホーツク紋別空港利用・整備促進期成会で今年度の目標搭乗者を7

万8千人とし、増便などの協議ができる環境を作ると

しています。紋別市では、首都圏の企業団体が市内の

企業へ訪問する際や、関東のパークゴルフ場や首都圏

の釣具店とも連携しプレーや釣りを楽しんだ人にも往

復5千円の補助をしています。また、高等養護学校を

はじめ紋別中学校と渚滑中学校が東京紋別便を修学旅行

に利用し、雄武高校も片道で利用しています。期成

会の副会長の1人である町長ですが、搭乗者確保に向

けた当町独自の取り組みがあればお聞かせください。

碓町長 遠軽、湧別町でも宿泊施設の利用やふるさと

会に対する新たな支援を打ち出している中、興部町

は最低の支援しかしていないのではとの見方もあるか

もしれませんが、今後の路線維持に向け、興部町として

どのような体制をとるか担当者も含めて今後協議してい

きたい。

竹内議員 雄武町はホテルや全ての宿泊者に往復1万

円、西興部村はホテル森夢の宿泊者に1泊1万円、2

泊なら2万円の補助、また村内に住所はないが同一生

計である生徒、学生に村民と同じ2万円の助成、紋別

市は市民の3親等まで範囲を広げています。町内でも

宿泊者に助成があるなら、各施設や観光協会で海水浴

客やおこっぺ夏祭り等で企画を出せるのではないです

か。これが興部の観光の始まりではないでしょうか。

興部に泊まり海産物、乳製品を食べ、お土産を買って

帰ってもらいお土産と共に宣伝してもらおう。進学や就

職で道外に出た子や孫の帰省等に助成することで町内

での飲食が増え、また、戻って来ようとか、ふるさと納税もしてくれるのではな

いでしょうか。今のままで

は隣の市町村とイメージの違いは明らかです。興部発

展の為、路線の拡大増便を求める為にも、補助対象者の

拡大を求めます。

碓町長 今、興部町にどのような観光がふさわしい

のかコンサルに投げかけ、観光協会を中心に検討して

います。西紋5市町村では、広域事業の5カ年事業とし

て観光のあり方も含め取り組んでいます。実際に搭乗者が

伸び悩んでいる中、興部町としてどうしていく

のかを考え、本州の大学に行く子供達が安く行き来が

出来る事も必要だと思いますし町がどのような観光の

作り方、その中で紋別をどう利用するかも踏まえ、今

年度検討させていますので一定の方針を出していきたい

です。

竹内議員 搭乗率が伸び悩んでいるからこそ遅れている

施策に興部町が取り組んでいたきたい。次に住民

補助ですが雄武町、西興部

村は倍の2万円で町民誰もがうらやましく思っており

興部町としてマイナスイメージです。町政執行方針で

「若い世代が町に定住してもらうには観光というキー

ワードは重要」、人口減少対策については「従来の取

り組みを見直し、移住者や企業誘致、若者が住みやす

い環境づくりに取り組む」と話されましたが、具体策

は何もありませんでした。これが具体策ではないです

か。土地は安く2時間で東京に着き補助もでる企業誘

致に強みです。移住者支援や若者が住よい環境づくり

では、子供達と旅行4人で8万円の補助、若者が住み

たくなる町です。雄武、西興部と同じく往復2万円の

補助を求めます。「保健・医療職、幼児教員や保健師

などを町外から呼び込む施策の実施」といいましたが、

まさに呼び込む施策ではないでしょうか。沙留小学校

の複式学級解消の為の教員や都市圏からの地域おこし

協力隊も未だ決まってい

ません。住んでも東京に近い、興部に来る決め手では。紋

別空港の搭乗者増加と観光、人口減少問題、移住者

支援、若者の定住、教員等の募集、全ての問題にも関

わっていると考える補助増額を求めます。

碓町長 住民補助につい

ては他の町村との差もあり

ますが、特に町の税収が増えないと財源ができません

ので町として長期的な応援をしていく中で決断をし、

前倒しをして産業を振興させ税収を得て、そのための

投資と言う事で町民にも喜んでもらえるような対策に

ついて担当課に指示をし、検討し即答はできません

が進めていきたい。

竹内議員 企業誘致が増え

ると色々な税金が発生しま

す。また、これは住民サー

ビスです。税金の滞納者や水道料金等の未納者は受け

られませんか。町民に税金は

きちんと払い、受けられる

という事を理解してもら

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

い、また若い世代、子供がいる家庭とか限定してでも、増額をやるべきと考えます。紋別市は興部町と同じく1万円の補助ですが、紋別市勤労者共済会の会員家族は市の1万円の他5千円もらえるそうです。この事から興部だけ1万円でするので増額はぜひ実現してもらいたい。



問 人口減少対策について

鈴木精一議員

答

今後標津町などの施策事例を調査し活用したい 碓 一寿町長



鈴木議員

平成28年に策定

した町総合戦略で、施策による人口減の抑制効果を見込み、5年刻みの総人口を推計しておりますが、目標値達成は厳しい状況です。町政執行方針での人口減少対策では、食い止めるためには「これまでの取り組みを見直すとともに、今後先進事例も参考にしながら、移住者支援や企業誘致さらには若者が住みやすい環境づくりに取り組む」とありますが、先進事例とは何を

問

「改正出入国管理法」の施行による外国人労働者の受入について

鈴木精一議員

答

早急にこの法律に対応できる産業対策、施策として進めたい

碓 一寿町長

鈴木議員

今までの政策

は、日本人を想定してのことと思いますが、道新には、「道内企業・団体が昨年受け入れた外国人技能実習生は、1万32人と7年連続で増加、従来多かった食料品製造業にとどまらず、建設業や漁業でも受入れが拡大している。」との報道。今後

碓町長

興部町の総合戦

略では、今の段階としては成果が出ていません。全道に人口減少を抑えている町があり、酪農・漁業が主体地域で、全体として人口は減っていますが、社人研の出したデータ以上に何とか増やしている町が根室管内の標津町です。同じような

産業構造の中でここが何故こうなったのか、どうやって落ちるスピードを抑えているのかを勉強し、活用していきたい。

なければ国内経済、特に過疎化が進む地域の経済は機能しなくなる恐れがあります。今般、改正出入国管理法の制定により農業・漁業・介護、建設業や飲食料品製造業など14業種で外国人就労が解禁。外国人労働者の受入れ人数ですが今後5年間で最大34万人を見込んでおりますが、予想される人

手不足の数に比べ相当少ない人数となっております。地元では、ホタテ貝漁業において、昨年人員不足により一隻休業せざるを得ない状況になり対策を講じましたが、乗組員確保には至っておりません。ホタテ貝漁業に技能実習生制度の適用がないため、地元漁協では今後、この制度により外国

人の受入を検討する方向と聞いております。この新たな在留資格の創設にあたり、政策に加えるべき施策と思います。

碓町長

雇用労働者が減少している中、漁業・酪農・介護についても非常に困難な状況です。東川町には北

工学園旭川福祉専門学校があり、生徒数が減少する中で、上川管内の20の町村が支援し、ここに外国の生徒を入れ日本語の勉強も含めて介護職員の勉強をしている。ただ取組があり、場合によつては私どもの町も考えていかなければならないと思います。ホタテ乗組みでは通年雇用ができないという事で、今まで対策が出来ませんでした。今回の改正法の中で新しい取組を町としても考えていかなければならない。外国の方に住んでいただいているわけですから、生活や言葉の問題について相談を受けられるような体制についても検討をしていかなければなりません。

鈴木議員

道新には「外国人労働者の増加は今後も続く」とみられる。「道は改正入管難民法施行に伴い外国人労働者の受入が今後も広がる」とみて、外国人の一元的な相談窓口を設ける方針を固めた。」との報道があり、札幌市も同様な動きです。この制度は外国人材をコミュニティの一員として受入れ、円滑な共生を図るとともに、法令等の遵守と人権保護の徹底が不可欠であるとの指摘もあります。

受入れ人数が限られており、条件の良い都市部に集中する懸念もある中、この町を選んでもらえる取組みも必要となるなど難しい課題をクリアしていく必要があります。紋別市では、道新によると「外国人技能実

習生を対象に日本語講座を始めた。実習後も紋別で長く働きたいと思ってもらえるよう期待をかける。」とあり、「実習生が日本語を学び、紋別に来て良かったと感じてくれれば、帰国後に母国で紋別の良さを広めてもらえる。」との考え。今回の特定技能で働く外国人労働者は、技能実習生が転換することが想定され、紋別市の取組みは見習うべき事例です。東川町立東川日本語学校、栗山町立北海道介護福祉学校の先進事例があります。町単独では大きな財政負担となることから、広域的課題として進める等のお考えはありませんか。

碓町長

この問題について

では、期成会を通じてきちんと状況に合うように外国の方に働いていただくかなければならないという要望を先ずしていきたい。この地域として安心して外国の方に働いていただく、再度、来たいとなるよう、この新

問

河川管理における協議会設置について

鈴木精一議員

答

漁協等と相談し、必要性あれば組織立上げを検討したい

碓 一寿町長

鈴木議員

平成30年に制定

した第6期総合計画では、「河川の整備と充実」について、防災の観点から主に流水阻害防止のための河道内立木の伐採がうたわれております。河畔林は川に影響を作り水温上昇の防止、動植物の生息場の提供及び落葉・落下昆虫などの有機物供給等の機能があります。興部川においては、昨年度が策定したさけ・ますふ化

しい改正法により定住化を進めていくと。それに対する町としての考え方は早急に持たなければなりません。色々な不安やストレスなど様々な問題を誰に相談するのか。第三者がきちんと相談を受けて雇用者に対

して改善をできるような形を。これは興部町単独としてもできるのではないかと思っています。早急にこの法律に対応できる産業対策、また政策として進めていかなければならないと考えております。

放流計画において、捕獲・放流河川に昇格したことから、興部川で捕獲された親魚を使つての一部ふ化放流となったところです。今後はふ化場の上流部に遡上自然産卵し、数年後には天然魚として上流部に遡上し、資源増大に寄与します。河畔林の特性を維持するため関係する機関の協議による伐採方法の手法を検討すべきだと思います。

裕町長

平成29年3月に道が発表した「河道内樹木伐採などの河川維持管理のあり方」というものがあり、水際のものについては10%くらい残すというのが基本的な考えです。最近では流木が出ておりませんが、流木の問題はむしろ上流のほうが河道内に相当木が堆積されたいので大きな問題だと思いますが、興部川の防災上としてある程度水位を下げたいと。当然、漁業者の方にご迷惑のかからないように対応して参りますので、ご理解をいただきたい。

鈴木議員

ただ今、町長から流木のお話がありました。平成20年頃に土砂や流木被害の問題で協議会を立ち上げたいとの声があり、このような事も含め協議ができる場を考えていただきたい。

裕町長

確認ですが、それはどのような協議会ですか。

鈴木議員

平成20年に産業建設委員会の中で漁組への

調査があり、「色々な土砂災害があつて土砂が流れてホタテに被害が出た」などの話をしたところ、西興部村を含めてこのような事の協議会をつくるという話があつたと思います。

裕町長

担当者も理解しておらず、今後再度ご相談させていただきます。執行方針の中で冒頭、北海道の危機的問題として水産の問題があります。海の問題、川の問題を含め、きちんと行政や水産関係が話し合うことが必要ですが、今の問題は農業にも関連することであり、漁協さんともお話をさせていただき、必要であればそのような組織の立上げ等を検討する場も考えていきたい。

議員活動報告

議会全員協議会

議長 山川 孝義

5月29日・6月10日協議会を開催し次の事項について、理事者及び所管課から説明を受け、質疑を行った。

5月29日

○合葬墓施設整備計画について

○興部町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について

○興部町地域福祉計画策定支援業務について

○興部町幼保連携型認定こども園整備基本構想策定業務について

○第2期興部町子ども・子育て支援事業計画策定業務について

○幼児教育無償化について

○プレミアム付商品券事業について

○予防接種事業（風疹の追加対策）について

6月10日

○バイオマス事業費における補正予算（追加提案）について

○バイオガスの有効活用に向けた連携協定の締結について

○興部町酪農業振興支援条例の制度化について

議会運営委員会

委員長 竹内 清

6月4日、13日委員会を開催し次の事項について審議した。

6月8日

○令和元年度第2回議会定例会について

6月13日

○令和元年度第2回議会定例会について

議会の構成



前田 義雄



佐藤 吉春



山川 孝義



竹内 清



小泉 優子



阿部 昭一



鈴木 精一



藤渡 昭博



矢野 幸三

○議会運営委員会
委員長 竹内 清
副委員長 小泉 優子

○監査委員
小泉 優子

○産業建設常任委員会
委員長 阿部 昭一
副委員長 竹内 清
委員 山川 孝義
委員 藤渡 昭博
委員 鈴木 精一

○総務社会常任委員会
委員長 前田 義雄
副委員長 小泉 優子
委員 佐藤 吉春
委員 矢野 幸三

議長 山川 孝義
副議長 佐藤 吉春

○広域紋別病院企業団議会
議員 矢野 幸三

○紋別地区消防組合議会
議員 前田 義雄
議員 鈴木 精一

○西紋別地区環境衛生施設
組合議会
議員 小泉 優子
議員 藤渡 昭博

○議会広報特別委員会
委員長 鈴木 精一
副委員長 藤渡 昭博
委員 佐藤 吉春
委員 阿部 昭一
委員 竹内 清

委員 佐藤 吉春
委員 前田 義雄
委員 阿部 昭一

選挙後、初の議会が5月8日に開会され、議長、副議長、各常任委員長など、新しい町議会の構成が決まりました。

北海道町村議会議員研修会報告

鈴木 精一 広報委員長

6月25日、札幌コンベンションセンターに於いて、北海道町村議会議員研修会が開かれ、政治評論家の有馬晴海氏による「どうなる？ 今後の日本政治」と中央大学名誉教授の佐々木信夫氏による「地方は変わるか？ 議会はどう変わるか」と題した講演が行われました。



有馬氏は7月の参院選について12年前の亥年選挙での自民党大敗と安倍首相退

陣につながった年金問題が、奇しくも今回惹起したことを受けた安倍政権の動向についての話をしました。また、この国は少子高齢化、財源不足、世界に売るだけの資源がないという状況の中で、特に人口減によつて国力が落ちており、今後AIの活用を図ることで人口減を補う、町の活性化のために空家対策を講じる必要性、また先進事例として、神奈川県大和市の図書館解放による高齢者も含めた市民の居場所をつくる取組み、また京都府向日市の激辛商店街立上げとその取組み等の事例を紹介し、今後の町を発展させるヒントにしていきたい旨の講演でした。

佐々木氏は、ゼロ成長が続く国債及び地方債合わせ1千300兆円の借金があ

る日本。人口も減少している中、今まで通りの経済を成長させ、人口を維持しようとする二十世紀型の考え方を切替える必要がある。近い将来に地方交付税交付団体となる東京都を見据え、東京一極集中を防ぎ東京圏と地方圏がともにウィンウィンとなるような施策

編集後記

元号も「平成」から「令和」へと変わり、我々議員も新しい体制で新たな任期を迎えることとなりました。元号で日本の古典から引用されたのは「令和」が初めてで、「令」の字が元号に用いられるのも初めてです。「令和」には人々が美しく心を寄せ合う中で新

が必要だろうとの見解を示されました。また、国政レベルでは小選挙区制の中で議員の質が劣化しており、地方議員が真剣勝負をしななければならぬ時代に入つたこと。地方議会の改革案として議会招集者を首長から議長へ、市町村が集まり法制局を立ち上げ議会のサポートをしてもらうことで、議員提案の活発化が図られることの提案を受けました。

ますます多くの地方はや

せ細っていくと思います。思い切った政策展開によりその速度を緩和し、住よい暮らしやすい町づくりに知恵を出さなければならぬと改めて思いました。



(記) 広報特別委員会

副委員長 藤渡昭博

広報委員長	鈴木 精一
副委員長	藤渡 昭博
委員	佐藤 吉春
委員	阿部 昭一
委員	竹内 清
議会事務局局長	齊藤 英之
議会事務局事務補	佐藤 麗華